

令和7年度（第8期）

事業報告書

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで

銚子電力株式会社

第 8 期事業報告書

銚子電力株式会社

自 令和 7 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 31 日

1. 株式会社の現況に関する事項

(1). 事業の経過及びその成果

当該会計年度は、電力業界にとって「GX（グリーントランスフォーメーション）」が本格的に具体化し始めた年度であり、加えて燃料価格・物価・脱炭素政策・再エネ拡大・電力需要増加など、多くの要素が重なった一年でした。

国は断続的な電力補助金を実施しておりましたが、補助金の有無によって電気代の変動幅が大きく、電気代の変化について需要家から問い合わせが多くあったように思います。

このような事業環境において当社は、「銚子市に根差した電力会社」として、地域貢献事業の取り組み強化や組織体制の強化を行いながら、主にコスト抑制を図ってまいりました。

以上の結果、当会計年度の売上高は、1,083,579 千円(予算比 94.6%)となりました。

利益につきましては、粗利益 37,051 千円(予算比 93.6%)、営業利益 2,158 千円（予算比 133.3%）、経常利益 1,859 千円(予算比 182.4%)、最終利益 1,413 千円となりました。

高压契約電力の減少、低圧件数の伸び悩みによって、電力事業の売上、粗利益面で予算を下回る結果となりました。

販管費の削減によって営業利益は上振れしましたが、収益性の低下がみられるため 2026 年度は売上、粗利益の改善施策を推進してまいります。

(2). 資金調達等についての状況

該当なし

(3). 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

	第 6 期	第 7 期	第 8 期
売上高（千円）	991,562	1,222,571	1,083,579
当期純利益（千円）	2,816	636	1,413
純資産額（千円）	10,394	11,030	12,443
総資産額（千円）	133,956	181,144	141,569
1 株当たり当期純利益（円）	28.19	6.37	14.15

(4).対処すべき課題と対策

2026 年度は、利益拡大を達成する重要な年度として、電力事業の利益率向上による安定収益基盤の確立を目指します。

課題別の対策は下記の通りです。

- ・ 低圧契約数の増加

2025 年度は近隣飲食店でポスターを活用したマーケティングを実施するも、顧客の増加には至らなかった。

2026 年度の顧客獲得施策は、不動産事業者とのコラボレーション及び対面によるものをメインとして、広告宣伝費を削減しつつも顧客拡大を目指す。

- ・ 高圧市場連動プランの拡販

電力市場価格が高くなりやすい夕方以降の時間帯の電力使用量が少ない需要家をターゲットに市場連動プランを拡販し、顧客拡大を目指す。

- ・ 新規事業の検討

電力事業以外の収益源を確立するため、新規事業の実施検討を進める。

新規事業内容は地域住民との接点や銚子の特性を理解したものであることを意識し、市と協力の上推進する。

- ・ 業務体制の効率化

現 CIS の不具合や非効率な点が多いため、業務フローを再構築、CIS の刷新を目指す。

(5).主要な借入先及び借入額

借入先	借入残高
銚子信用金庫	1,181 万円
銚子商工信用組合	1,181 万円

2.株式に関する事項

(1).株主の状況

①.発行済株式総数 99,900 株

②.株主の状況

	名称	持株数	持株割合
1	銚子市	49,950 株	50.0%
2	株式会社 Looop	33,966 株	34.0%
3	株式会社エックス都市研究所	9,990 株	10.0%
4	銚子信用金庫	2,997 株	3.0%
5	銚子商工信用組合	2,997 株	3.0%

3.会社役員に関する事項

(1).役員に関する事項

氏名	地位及び担当	重要な兼職の状況
新谷 一将	代表取締役	—
越川 信一	代表取締役	銚子市長
永井 大介	取締役	—
伊東 孝之	取締役	—
河原田 俊秀	取締役	—
八角 貴志	監査役	—

(2).取締役、監査役ごとの報酬等の総額

区分	人数	報酬等の額
取締役	5 名	1,055 万円
監査役	1 名	—

決 算 報 告 書

第 8 期

自 令和07年04月01日

至 令和08年03月31日

銚子電力株式会社

貸借対照表

令和08年03月31日 現在

銚子電力株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	140,434,958	【流動負債】	108,582,365
現金及び預金	13,380,495	買掛金	101,183,237
売掛金	126,786,738	1年以内返済長期借入金	3,072,000
貸倒引当金	△ 88,800	未払費用	2,501,262
貯蔵品	80,425	預り金	164,666
短期貸付金	100,000	未払消費税等	1,232,900
未収入金	100	未払法人税等	428,300
前払費用	176,000	【固定負債】	20,544,000
【固定資産】	1,134,880	長期借入金	20,544,000
無形固定資産	1,090,710	負債の部合計	129,126,365
ソフトウェア	1,090,710	純資産の部	
投資その他の資産	44,170	科目	金額
出資金	20,000	【株主資本】	12,443,473
敷金	5,000	資本金	9,990,000
預託金	19,170	利益剰余金	2,453,473
		その他利益剰余金	2,453,473
		繰越利益剰余金	2,453,473
		(うち当期純利益)	1,413,238
		純資産の部合計	12,443,473
資産の部合計	141,569,838	負債・純資産の部合計	141,569,838

損益計算書

自 令和07年04月01日
至 令和08年03月31日

銚子電力株式会社 (単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	1,083,578,607	1,083,578,607
【売上原価】		
仕入高	1,046,527,664	
合計	1,046,527,664	
売上総利益		37,050,943
【販売費及び一般管理費】		34,893,230
営業利益		2,157,713
【営業外収益】		
受取利息	62,052	
受取配当金	400	
貸倒引当金戻入額	82,200	
雑収入	82	144,734
【営業外費用】		
支払利息	443,533	443,533
経常利益		1,858,914
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純利益		1,858,914
法人税等		445,676
当期純利益		1,413,238

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和07年04月01日
至 令和08年03月31日

銚子電力株式会社 (単位：円)

科目	金額	
【販売費及び一般管理費】		
役員報酬	10,620,000	
給料賃金	5,593,824	
賞与	1,618,200	
法定福利費	1,129,236	
福利厚生費	6,727	
業務委託料	300,000	
広告宣伝費	1,745,571	
接待交際費	20,181	
旅費交通費	195,142	
通信費	1,771,562	
水道光熱費	169,882	
修繕費	2,950	
備品・消耗品費	410,953	
リース料	27,840	
地代家賃	413,291	
保険料	49,110	
租税公課	25,750	
支払手数料	7,554,852	
支払報酬	750,000	
寄付金	500,000	
減価償却費	1,285,833	
貸倒損失	75,526	
雑費	626,800	
販売費及び一般管理費合計		34,893,230

株主資本等変動計算書

自 令和07年04月01日
至 令和08年03月31日

銚子電力株式会社		(単位：円)
株主資本		
資本金	当期首残高	9,990,000
	当期変動額	0
	当期末残高	9,990,000
利益剰余金		
その他利益剰余金	当期首残高	1,040,235
	当期変動額	当期純利益 1,413,238
	当期末残高	2,453,473
株主資本合計		
	当期首残高	11,030,235
	当期変動額	1,413,238
	当期末残高	12,443,473
純資産の部合計		
	当期首残高	11,030,235
	当期変動額	1,413,238
	当期末残高	12,443,473

個別注記表

自 令和07年04月01日

至 令和08年03月31日

銚子電力株式会社

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）及び平成28年4月1日以降取得した建物附属設備並びに構築物については定額法）を採用しています。

②無形固定資産

定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権について合理的基準により計上するほか個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

①消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 99,900株

(2) 当該事業年度の末日における自己株式の数 0株

以上

附属明細書

1.有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

	資産の 種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額
無形固定 資産	ソフトウェ ア	1,946,543	430,000		1,285,833	1,090,710	6,098,289

2.引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	171,000		82,200	88,800

監 査 報 告 書

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第8期事業年度の取締役の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和8年5月29日
銚子電力株式会社
監査役 八角 貴志